

冷却塔 データシート1【品質性能概要】＜評価基準＞

項 目		単位等	評価基準	事由
1. 適用範囲	形式・形番		形式・形番が記載されていること	評
	分 類 1		標準仕様か高層階仕様かの区分がされている	評
	分 類 2		丸型・角型の確認	評
	分 類 3		開放式で、直交流形か向流形かの区分がされている	評
	分 類 4		騒音仕様の区分がされている	評
2. 品質・性能	性能試験			
2.1 性能試験			提出されて規格、試験項目が適合していること JIS B8609(強制通風式クーリングタワー性能試験方法) 試験項目 冷却能力試験、騒音試験、水滴損失試験、消費電力・運転電流試験、絶縁抵抗試験、耐電圧試験、始動電流試験	評
	高層階仕様の構造性能		施工令129条の2の6及び告示3411に適合していること	仕
	強度性能試験		耐震性能(1.5以上)の試験結果又は構造計算書が提出できること	仕
			風圧力・積雪荷重の資料が提出でき告示第1389に適合すること	仕
	冷却塔諸元表		提出され騒音値等が適合していること	仕 評
3. 構造	構造図・外形図		提出され主要構造部の名称及び寸法等が確認できること	仕
3.1 塔本体	塔本体の材質		ガラス繊維強化ポリエステル樹脂、硬質塩化ビニル、ステンレス鋼材又は鋼材	仕
	塔本体材料の厚さ		耐震強度計算に適合していること	評
	水分配装置の材質		鋼材、ステンレス鋼材、アルミニウム鋳物又は合成樹脂	仕
	空気取入口の材質		ガラス繊維強化ポリエステル樹脂、硬質塩化ビニル、ステンレス鋼材又は鋼材	仕
	充填材の落下水滴を均一に細分させる構造		構造を確認する	仕
	点検及び掃除ができる構造		点検及び掃除が可能なこと	評
	塔本体に使用する鋼板		JIS H 8641(溶融亜鉛めっき) HDZT49を施したもの	仕
3.2 水槽	水槽の材質		ガラス繊維強化ポリエステル樹脂、硬質塩化ビニル、ステンレス鋼	仕
	配管接続口		排水管 有	仕
			オーバーフロー管 有	仕
			補給水管 有	仕
			その他	仕
	冷却水取出口の構造		空気を吸込まない構造	仕
	冷却水取出口に設けるストレーナの材質		ステンレス製又は合成樹脂製	仕
3.3 送風機	送風機の形式		軸流送風機及び斜流送風機	仕
	ケーシングの材質		塔本体と同材料	仕
	フレームの材質		塔本体と同材料	仕
	主軸の材質		JIS G 4051(機械構造用炭素鋼鋼材)によるS30C以上	仕
	羽根の材質		亜鉛鉄板、アルミニウム材又は合成樹脂	仕
	駆動方式		Vベルト駆動形又は電動機直動形	仕
	排気口保護網の材質		ステンレス鋼製、鋼製又は合成樹脂製	仕
	送風機に使用する亜鉛鉄板		エポキシ樹脂又は塩化ビニルによる表面処理を施してあること	仕

項 目		単位等	評価基準	事由
3.4 電動機	規格		JISC4213(低圧三相かご形誘導電動機－低圧トップランナーモータ)等、JIS C 4212(高効率低圧三相かご形誘導電動機(0.75kW以下に限る))、JIS C 4210(一般用低圧三相かご形誘導電動機(0.75kW以下に限る))	仕
	保護方式		JIS C 4034-5「回転電気機械－第5部：外被構造による保護方式の分類」によるIP 44「全閉防まつ形」又はIP 22「防滴保護形」(防水上有効な構造のケーシングに納められた場合に限る)	仕
	始動方式		直入又は順次直入(複数台の場合)等	仕
4. 塗装	塗装箇所			評
	塗料種別		製造者標準	評
5. 冷却塔用薬液注入装置	適用		特記による	仕
	構成		薬注ポンプ、薬液タンク、制御装置、共通ベース等	仕
6. 附属品	ボールタップ		有	仕
	はしご		有(本体の高さが1.5m以上の場合とし、鋼製(JIS H 8641(溶融亜鉛めっき)によるHDZT49を施したもの。)又はステンレス鋼製	仕
7. 銘板	製造者名 形式品番 製造年月 製造番号 冷却能力 水 量 入口水温度 出口水温度 外気湿球温度 電 源 電動機出力	 kW L/min ℃ ℃ ℃ ℃ φ,V,HZ kW	製造者名称 製造者型式名称 西暦 製造者標準 設計値 設計値 設計値 設計値 設計値 設計値 製造者値	承
8. 提出書類 の確認 (納入時)	承諾図		提出できること	承
	完成図		提出できること	承
	取扱説明書		提出できること	承
	試験成績書		提出できること	承
	基礎ボルト耐震計算書		提出できること	承 設

評価基準の事由

仕：標準仕様書又は改修標準仕様書の規定による
 設：設計基準の掲載事項による
 承：機材承諾図様式集の掲載事項による
 評：評価事業による確認事項